

第1章 教育

政府の教育への取り組み

「教室への接続率100%」を目指す整備計画

資料3-1-27 インターネット接続学校数

	学校数(A)(校)	インターネット(B)接続学校数(校)	割合 B/A(%)
小学校	23,686	6,499	27.4
	23,607	11,507	48.7
中学校	10,432	4,461	42.8
	10,418	7,068	67.8
高等学校	4,161	2,651	63.7
	4,146	3,320	80.1
特殊教育諸学校	920	334	36.3
	925	554	59.9
合計	39,199	13,945	35.6
	39,096	22,449	57.4

(注) 上段の数値は前年度の数値を表す。

出所 文部省の資料を元に作成

資料3-1-28 インターネット接続状況

	インターネット接続学校数(A)(校)	ガイドラインがある学校数(B)(校)	割合 B/A(%)	ホームページがある学校数(C)(校)	割合 C/A(%)	月平均インターネット利用時間数(D)(時間/校)	平均 D/A(時間)
小学校	6,499	2,316	35.6	1,908	29.4	74,422	11.5
	11,507	4,603	40.0	3,550	30.9	160,695	14.0
中学校	4,461	1,497	33.6	1,290	28.9	77,783	17.4
	7,068	2,960	41.9	2,045	28.9	168,671	23.9
高等学校	2,651	1,210	45.6	1,465	55.3	107,806	40.7
	3,320	1,621	48.8	1,975	59.5	180,314	54.3
特殊教育諸学校	334	184	55.1	179	53.6	8,637	25.9
	554	293	52.9	280	50.5	16,472	29.7
合計	13,945	5,207	37.3	4,842	34.7	268,648	19.3
	22,449	9,477	42.2	7,850	35.0	526,152	23.4

(注) 上段の数値は前年度の数値を表す。ガイドラインとは、都道府県、市町村、学校などが、インターネットの利用や、個人情報の取り扱いに関して策定したものを示す。

出所 文部省の資料を元に作成

資料3-1-29 コンピュータの設置場所別学校数および台数

	コンピュータを設置する学校数(A)(校)	コンピュータ専用教室				教科の特別教室				普通教室			
		学校数(B)(校)	割合 B/A(%)	コンピュータ設置台数(C)(台)	平均 C/B(台/校)	学校数(D)(校)	割合 D/A(%)	コンピュータ設置台数(E)(台)	平均 E/D(台/校)	学校数(F)(校)	割合 F/A(%)	コンピュータ設置台数(G)(台)	平均 G/F(台/校)
小学校	23,140	14,390	62.2	217,116	15.1	2,548	11.0	10,678	4.2	2,561	11.1	10,347	4.0
	23,344	17,367	74.4	274,657	15.8	2,518	10.8	9,940	3.9	2,952	12.6	13,043	4.4
中学校	10,426	10,367	99.4	280,613	27.1	2,123	20.4	10,589	5.0	644	6.2	2,831	4.4
	10,418	9,961	95.6	318,743	32.0	2,232	21.4	12,825	5.7	734	7.0	3,677	5.0
高等学校	4,161	3,864	92.9	211,408	54.7	2,254	54.2	55,715	24.7	58	1.4	699	12.1
	4,146	3,897	94.0	223,253	57.3	2,295	55.4	57,717	25.1	55	1.3	712	12.9
特殊教育諸学校	910	628	69.0	5,466	8.7	282	31.0	1,297	4.6	219	24.1	1,207	5.5
	921	690	74.9	6,347	9.2	263	28.6	1,266	4.8	246	26.7	1,491	6.1
合計	38,637	29,249	75.7	714,603	24.4	7,207	18.7	78,279	10.9	3,482	9.0	15,084	4.3
	38,829	31,915	82.2	823,000	25.8	7,308	18.8	81,748	11.2	3,987	10.3	18,923	4.7

(注) 学校数は複数回答。教科の特別教室：視聴覚、理科、音楽、図画工作、美術、技術科、家庭科、職業教科・科目専用。上段の数値は前年度の調査結果。

出所 文部省の資料を元に作成

解説

世界の主要各国は、学校でのインターネットの活用を積極的に推進している。日本の政府も2001年までにすべての学校をインターネットに接続する計画を打ち出し、ここ数年は年々倍増の勢いで接続校が増え、2000年時点で57.4%の小中高校が接続（資料3-1-27）、ホームページがある学校は35%に達する（資料3-1-28）。

日本の学校の「接続率」の算出は、学校に1台だけでもインターネットに接続しているコンピュータがあれば、それで接続校としてカウントする。つまり、学校への接続率が100%になったからといって、

学校にいる児童・生徒や教師がインターネットを活用できるとは限らない。「学校への接続率」よりも「教室への接続率」のほうが学校でのインターネット利用環境の整備状況を表す指標として適切である。普通教室にコンピュータが設置されている学校は全体の1割程度にとどまる（資料3-1-29）。

日本の学校教育の情報化は、2000年度から「ミレニアム・プロジェクト『教育の情報化』」の施策により、大きな「転機」を迎えることになった。2000年7月に文部省は、国際的に共通する目標で

ある「各普通教室2台のコンピュータ+プロジェクター」の導入、校内LANによる「全教室接続」の実現を含む整備計画を発表した。これにより、日本も他の先進国に追随する形で、教室への接続率100%を目指すことになる。本施策は6年計画で実施される。変化の激しいネットワークの世界では、計画の途中で大幅に手直しをしなければならない状況変化がありうる。本施策スタートの直後に、ブロードバンド化の流れを考慮した追加修正施策が必要となりそうである。

(新谷 隆 国際大学GLOCOM)



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp